労山愛知

愛知県勤労者山岳連盟機関紙
2024年３月21日発行
No. **610号**（第56期 １号）

〒454-0055
名古屋市中川区十番町 2-8
栄和産業(株)ビル 2F
TEL/FAX 052-654-1411
http://aichirousan.web.fc2.com/

第 56 期定期総会　報告（概要）

第 56 期定期総会を 2024 年 3 月 3 日(日)9 時 30 分より開催しましたので、概要を報告します。廣田会長の挨拶に先立ち、能登半島地震により亡くなられた多くの方々を哀悼の意を表して全員で黙とうをささげました。

(挨拶の内容) 県連総会はコロナ感染が第５類に移行し、昨年の代表者会議に続き、この事務所で総会をやっと開催することができるようになりました。さて、この３年余りで随分と世の中が変わってきた気がします。

一つはウクライナとパレスチナの紛争です。終わりが見えない状況は暗澹とした気持ちになります。世界が分断されて、世界平和が遠のいています。もし私たちの周りで戦争がおこれば私たちは登山を続けることができなくなります。平和であってこその登山です。二つ目は最近の登山界です。コロナの影響からかアウトドア志向が高まってきて、それは良いことだと思うのですが、遭難事故が多発しています。事故が増えれば、山は危険だとか、遭難のために救助活動するのは税金の無駄だとか、社会の目が厳しくなりかねません。肩身の狭い思いで山に行かざるを得ないかもしれない。そんなことにならないよう、私たち山岳団体は率先して安全対策をしていかなければなりません。（次頁につづく）

《目次》

	第 56 期定期総会　報告（概要）	1
	全国連盟第 36回定期総会が開かれました	2
組織部	第１回組織部会･平和行進学習会　報告	3
	年間カレンダー	5－6

（表紙からのつづき）
３つ目は格差の拡大です。山小屋やテント代の値上げはかなりの負担となっています。経済格差とともに、情報の格差と分断があるのではないかと思っています。SNS などで個人でも情報発信がやりやすくなった半面、情報が細分化というか、個々の範囲で交わされ広い視野がなくなってきているのではないか。そこに情報の格差もあるのではないかと思っています。分断と格差に危機を感じています。
今日はリアルに顔を合わせながら会合ができる。これは大事なことだと思います。今日の会議が有意義な一日になりますようにと願い、第５６期総会を開催いたします。

全国連盟川嶋理事長よりメッセージが送られていて、佐藤理事長が冒頭に読み上げて紹介しました。
議事に先立つ総会の成立状況は、代議員総数 42 名に対して出席者は、32 名、委任状 5 名、欠席 1 名で過半数の出席で成立でした。
総会議案書と資料集に基づき、佐藤理事長と各担当理事より第一号議案・総括と方針(案)の報告・説明、中橋財政より第二号議案・第 55 期決算(案)、第三号議案・第 56 期予算(案)が報告・説明されました。
質疑の詳報は別途報告します。
議案に対する採決での総会成立状況は、代議員出席者 33 名、委任状 5 名、欠席 1 名で、採決の結果は保留 0 名、反対 0 名、賛成 33 名で各議案が承認されました。
第 56 期県連役員選挙では、立候補者の信任は 35 票～27 票で全員信任されました。新任役員の紹介を佐藤理事長より行い、総会を閉会しました。
総会を支えて頂いた議長をはじめ各総会役員の皆さん、お疲れさまでした。

総会役員　議長：名古屋山岳同志会・水越　名古屋ありんこ山岳会・水谷
書記：じねんじょ山の会・後藤(理事)、みどり山の会・山本(理事)
資格審査委員：東三河山ぽ会・戸田(理事)、名古屋山歩会・渡辺(監査)、じねんじょ山の会・池田
選挙管理委員：半田ファミリィー山の会・森本、名古屋山岳同志会・廣瀬、山の会「くらら」・安藤　(敬称略)

全国連盟第 36 回定期総会が開かれました

2 月 17 日(土)～18 日(日)、東京都府中市で「未来のために、和平と安全登山を目指そう！」のスローガンのもと、第 36 回定期総会が開催されました。32 地方連盟から 57 名の代議員と全国連盟役員や関係者を合わせ 99 名の参加があり、愛知からは吉川事務局長（全国理事）と廣田会長・佐藤理事長・中橋財政が出席しました。主な議題は、【第 1 号議案】第 35 期下期の活動総括と第 36 期上期（2024 年度）の活動方針、【第 2 号議案】第 35 期下期の財政活動総括と第 36 期上期の財政方針、予算案の策定、【第 3 号議案】全国役員の選出、その他でした。また、今総会の主な目的と主要な課題は（１）広範な登山者の要求実現と登山環境整備のための、組織強化と会員拡大を目指す活動について（２）コロナ禍後に、増え続ける遭難事故への対策と安全登山教育の拡充について（３）環境保全に取り組み、豊かな自然を守る活動について（４）紛争の無い平和な社会を実現し、登山文化を継承・発展させる取り組みについてでした。
初めに浦添会長からの呼びかけで、能登半島地震被災者哀悼のため黙とうをささげました。また、石川県連の被災状況と活動報告がありました。（会長挨拶の要約）1 年を振り返り、労山全

体で山岳事故死亡・行方不明者が 7 人を数えた。世界平和の危機のなか、シカゴの高校生たちが子供を殺すなとガザ停戦のアピールをしたこと。気候変動は地球沸騰化ともいえるくらいになり、省エネ・循環型の社会が求められている。神奈川県の高校生たちが「すべての県立高校のエネルギーを再生エネルギーに交換」と 25,000 人の署名を集めたこと。山岳自然環境を守る活動が大切である。また、今まで労山がみなし法人として活動してきたが、法的な問題から一般財団法人として活動していくにあたり、資産の管理について問題があるとの指摘がありました。
そのあと、川島理事長より 1、2、3 号議案と、総会の主な目的と主要な課題についての報告がありました。1 号議案では組織拡大について、2023 年 11 月末の組織調査では 556 団体 16616 名となり、前年比 198 名減。ただこの減数は 2014 年からの過去 9 年間最小であった。遭対関係では、労山内で山岳遭難事故件数が 361 件、事故者数が 366 名と過去最高を更新。死亡・行方不明者が 7 名となり、コロナ後に山行が増えたから事故も増えたのか分析を進めたい。自然保護では、清掃登山が、1 都 2 府 21 県で取り組まれた事。京都の山岳自然や環境を破壊する「北陸新幹線延伸計画」に反対していくことなどが報告されました。メディア局から機関誌を再編し、月間「JWAF ジャーナル」と季刊「登山時報」に円滑移行したとの報告がありました。2 号議案では、全国の会員数減少による連盟費減少が続いているが、2023 年度も安定した事業と予算執行を行えたとの報告がありました。

その後各地方連盟からの質問、報告があり 1 日目は 18：00 に終了しました。2 日目は 8：30 から始まり、質疑応答、採決、承認をしました。続けて地方連盟の報告があり、川島理事長の討論のまとめの報告、最後に能登半島地震救援募金 200 万円の目録が石川県連会長に手渡されて 12：00 に終了しました。討論や発言内容などの詳細は「JWAF ジャーナル 3 月号」に掲載予定とのことです。

組織部　第 1 回組織部会・平和行進学習会　報告

第 1 回組織部会を 3 月 7 日(木)開催しましたので報告します。
出席者　：　吉川(尾張 HC)、佐藤(あつた労山)、
Zoom 参加：　後藤(じねんじょ)、下山・大島(みどり山の会)、小川(スルジェ山の会)、中津川・松岡(あつた労山)、戸田(東三河)、中橋(若駒)、他 1 名。
講　師:愛知原水協事務局長・佐々木氏

今回は五月末からのあいち平和行進へ向けての学習会ということで、上記佐々木氏を招いて、「ことしの平和行進にとりくむ意義」と題して、1. 原水爆禁止運動の発祥から今日、2. 核抑止力論から

脱却し核兵器廃絶を、ストップ大軍拡！　3. 今こそ憲法 9 条で日本をまもる、の各項について、用意されたパワーポイントの資料により説明を受けました。

1.“原水爆禁止運動の発祥から今日”

(1)今年は「ビキニ事件」

1954 年 3 月 1 日、アメリカがビキニ環礁で水爆実験を行ってから被災 70 年の年になります。爆心地から 160 ㎞東方の海上で操業中の第五福竜丸などでは、突如に西方に閃光を見て、地鳴りのような爆発音が船体を襲いました。160 ㎞とは名古屋市から静岡市を超える距離に相当し如何に水爆実験の規模が巨大なものか分かります。やがて実験により生じた「死の灰」が第五福竜丸に降り注ぎ、乗員 3 名全員が死の灰を浴びて被爆しました。原爆実験は 1945 年 7 月アメリカ初の原爆実験、1949 年 8 月旧ソビエトが初の原爆実験を行い、7 ヶ国が計 2,600 回以上の核実験を行い、太平洋海域では 30 回以上の核実験が行われてきました。

(2)原水爆禁止の総意を築いた「ビキニ署名」

「ビキニ事件」を契機に原水爆禁止を目指す「ビキニ署名」が全国で取り組まれ寄せられた署名の数は 3000 万人を超えました。1955 年第 1 原水爆禁止世界大会が開かれ、直後に日本原水協が発足し、1956 年原水爆被害者団体協議会(日本被団協)が結成され、核兵器廃絶の運動の基礎が築かれました。

2.核抑止力論から脱却し核兵器廃絶を

(1)核兵器禁止条約　第 2 回締約国会議。

核兵器や核兵器や核起爆装置の開発・実験・生産・製造・取得・専有・貯蔵など核兵器に関わるあらゆる事項を禁止する核兵器禁止条約が 2017 年 7 月の国連総会で賛成多数で採択されました。2020 年 10 月には条約の発効に必要な 50 ヶ国の批准に達し、2021 年 1 月 22 日に核兵器禁止条約が発効しました。

この条約の第 2 回締約国会議が昨年 12 月 1 日開催され、政治宣言が採択されました。条約はその国が署名するだけでなく国の主権者が批准など国として正式な手続きをとることで、この批准の手続きを取った締約国の会議が開かれました。

採択された政治宣言は「核抑止力に基づく安全保障の概念に挑戦」することです。

第 2 回締約国会議の特徴は、条約締約国・オブザーバー参加国と共に、各国の国としての代表だけでなく市民社会の代表が参加したことです。会議への参加は、核兵器禁止条約の締約国 69 の内、59 ヶ国が参加、オブザーバー国 35 ヶ国が参加して計 94 ヶ国か参加しました。これは国連加盟国 193 ヶ国の約半数に当たり、核兵器禁止の世論は国際的な流れとなっています。

他方、第五福竜丸被ばくを含めて原水爆の被爆国日本の第 2 回締約国会議への不参加には国内外から批判が集りました。松野官房長官(当時)は昨年 11 月 23 日の記者会見で、「核兵器禁止条約第 2 回締約国会議にはオブザーバー参加しない。」と表明していました。

（上記の内容は、学習会当日パワーポイント、Zoom で使用されて資料を要約したものです。“講師からは自由に使ってください”、と頂いていますので、希望する会は連絡ください。）　続く。

【編集後記】最近はめっきりコロナのニュースも聞かなくなりました。全国で4週連続で下がっていた感染者数ですが、実は先週の発表では16の県で早くも上昇に転じています。5類移行前の去年の春よりも感染者数はだいぶ多い状態でしばらく推移しそうなグラフになってきています。まだそんなには安心できないみたいですね。お気を付けください。（事務局　井土）

ご意見、ご要望・投稿・写真などはメール、または県連事務所あてに郵送してください。
http://aichirousan.web.fc2.com/　e-mail:aichirousan@gmail.com

第56期　年間計画　　2024年3月～2025年2月　　**県連事務所は、水曜日は東海山岳会、火曜日は若駒山岳会の使用を優先。**

2024年3月			4月			5月			6月			7月			8月		
1	金		1	月	登山学校理論	1	水		1	土		1	月	登山学校理論	1	木	
2	土		2	火		2	木	女性部会③	2	日	清掃登山	2	火		2	金	
3	日	第56期総会	3	水		3	金		3	月	登山学校理論	3	水		3	土	
4	月		4	木	組織担当者会議② 女性部会②	4	土		4	火		4	木	組織担当者会議④ 女性部会⑤	4	日	
5	火		5	金	清掃登山実行委員①	5	日		5	水		5	金	夏山合宿連絡会議	5	月	
6	水		6	土		6	月		6	木	組織担当者会議③ 女性部会④	6	土	全国遭対担当者会議 登山学校MC	6	火	
7	木	組織担当者会議① 女性部会①	7	日	交流山行(教育部)	7	火		7	金	遭対担当②	7	日	全国遭対担当者会議 登山学校MC	7	水	
8	金		8	月	登山学校理論	8	水		8	土		8	月		8	木	組織担当者会議⑤
9	土		9	火		9	木	理事会③	9	日	登山学校C	9	火		9	金	
10	日		10	水		10	金	清掃登山実行委員会③	10	月	確保技術(机上)	10	水		10	土	山の日記念全国大会
11	月		11	木	理事会②	11	土		11	火		11	木	理事会⑥	11	日	山の日記念全国大会
12	火		12	金	春山合宿連絡会議	12	日	登山学校C	12	水		12	金		12	月	
13	水		13	土	登山学校MC	13	月	登山学校理論	13	木	教育担当者会議④	13	土		13	火	
14	木	理事会①	14	日	登山学校MC	14	火		14	金		14	日		14	水	
15	金	自然保護担当①	15	月	登山学校理論	15	水		15	土	理事会⑤	15	月		15	木	
16	土		16	火		16	木		16	日	確保技術(実技)	16	火		16	金	
17	日		17	水		17	金	春山合宿報告会議	17	月	無雪期救助(机上)	17	水		17	土	登山学校M
18	月		18	木		18	土	登山学校M	18	火		18	木		18	日	登山学校C
19	火		19	金	清掃登山実行委員②	19	日	登山学校M	19	水		19	金	自然保護担当②	19	月	
20	水		20	土	登山学校M	20	月	登山学校理論	20	木		20	土		20	火	
21	木	教育担当者会議①	21	日	登山学校C	21	火		21	金		21	日		21	水	
22	金		22	月	登山学校理論	22	水		22	土	救急救命法	22	月		22	木	教育担当者会議⑤
23	土		23	火		23	木	教育担当者会議③	23	日	無雪期救助(実技)	23	火		23	金	夏山合宿報告会議
24	日		24	水		24	金	清掃登山実行委員会④	24	月	登山学校理論	24	水		24	土	
25	月		25	木	全国理事会 教育担当者会議②	25	土		25	火		25	木		25	日	
26	火		26	金		26	日	登山学校C	26	水		26	金		26	月	
27	水		27	土		27	月	登山学校理論	27	木		27	土		27	火	
28	木	全国理事会	28	日		28	火		28	金		28	日		28	水	
29	金	遭対担当①	29	月		29	水		29	土	登山学校MC	29	月		29	木	理事会⑦
30	土		30	火		30	木	理事会④	30	日	登山学校MC	30	火		30	金	
31	日	登山学校理論				31	金					31	水		31	土	登山学校M

2024年9月			10月			11月			12月			2025年1月			2月		
1	日	登山学校M	1	火		1	金		1	日	組織部交流山行	1	水		1	土	
2	月		2	水		2	土		2	月	雪山安全講習会④	2	木		2	日	交流山行(教育部) 積雪期救助訓練実技
3	火		3	木	組織担当者会議⑦ 女性部会⑦	3	日		3	火		3	金		3	月	
4	水		4	金		4	月		4	水		4	土		4	火	
5	木	組織担当者会議⑥ 女性部会⑥	5	土	若手ｸﾗｲﾐﾝｸﾞ講習会 ﾊｲｷﾝｸﾞ交流集会	5	火		5	木	組織担当者会議⑨ 女性部会⑨	5	日		5	水	
6	金	遭対担当③	6	日	若手ｸﾗｲﾐﾝｸﾞ講習会 ﾊｲｷﾝｸﾞ交流集会	6	水		6	金		6	月		6	木	組織担当者会議⑪ 女性部会⑪
7	土	一般登山講座第1日 登山学校C	7	月		7	木	組織担当者会議⑧ 女性部会⑧	7	土		7	火		7	金	
8	日	登山学校C	8	火		8	金	遭対担当④	8	日		8	水		8	土	
9	月		9	水		9	土		9	月	雪山安全講習会 実技山行打合せ	9	木	理事会⑬	9	日	
10	火		10	木	理事会⑩	10	日		10	火		10	金		10	月	
11	水		11	金		11	月	雪山安全講習会②	11	水		11	土		11	火	
12	木	理事会⑧	12	土	一般登山講座実技①	12	火		12	木		12	日		12	水	
13	金		13	日		13	水		13	金	冬山合宿連絡会議	13	月		13	木	理事会⑮
14	土		14	月		14	木	理事会⑪	14	土		14	火		14	金	遭対担当⑤
15	日		15	火		15	金	自然保護担当⑤	15	日		15	水		15	土	全国評議員会
16	月		16	水		16	土	全国自然保護集会	16	月		16	木	女性部会⑩ 組織担当者会議⑩	16	日	全国評議員会
17	火		17	木		17	日	全国自然保護集会 東海B雪崩(机上)	17	火		17	金	自然保護担当⑦	17	月	
18	水		18	金	自然保護担当④	18	月	雪山安全講習会③	18	水		18	土		18	火	
19	木	教育担当者会議⑥	19	土		19	火		19	木	教育担当者会議⑨	19	日		19	水	
20	金	自然保護担当③	20	日		20	水		20	金	自然保護担当⑥	20	月	積雪期救助(机上)	20	木	
21	土	一般登山講座第2日	21	月		21	木	教育担当者会議⑧	21	土	理事会⑫	21	火		21	金	
22	日	交流山行(教育部)	22	火		22	金		22	日	雪山安全講習会 実技山行(日帰り)	22	水		22	土	
23	月		23	水		23	土		23	月		23	木	教育担当者会議⑩	23	日	
24	火		24	木	教育担当者会議⑦	24	日		24	火		24	金		24	月	
25	水		25	金		25	月		25	水		25	土	雪山安全講習会 実技山行(テント泊) 東海B雪崩講習会	25	火	
26	木	理事会⑨	26	土	一般登山講座実技②	26	火		26	木		26	日	雪山安全講習会 実技山行(テント泊) 東海B雪崩講習会	26	水	
27	金	代表者会議準備	27	日		27	水		27	金		27	月		27	木	理事会⑯
28	土		28	月	雪山安全講習会①	28	木		28	土		28	火		28	金	総会準備
29	日	代表者会議	29	火		29	金		29	日		29	水		3月		
30	月		30	水		30	土		30	月		30	木	理事会⑭	1	土	
			31	木					31	火		31	金	冬山合宿報告会議	2	日	**第57期総会**